

授業科目名・形態	介護総合演習IV 演習	必修・選択の別	選択	単位数	1
科目担当者氏名	石岡和志・柴田博・山田克宏	実務経験の有無	有	開講期	3年後期

【授業の主題】

介護実践に必要な知識と技術の統合を行なうとともに、介護観を形成し、専門職としての態度を養う学習とする。介護実習Ⅲ終了後の各自の個別援助計画について発表するなど振り返りを中心に授業を行う。また、介護実習の総仕上げとして、各自の介護関連テーマについて実践研究し、発表するとともに自身の介護観についても考察を深める。

【到達目標】

- 1) 質の高い介護実践やエビデンスの構築につながる実践研究の意義とその方法を理解する。
- 2) 介護実習Ⅲで実施した個別援助計画について説明できる。
- 3) 各自の介護観について説明できるようになる。

【授業計画・内容】

- 第1回 介護実習Ⅲの課題のまとめ（担当教員全員）
 第2回 介護実習Ⅲの課題について討議（担当教員全員）
 第3回 介護実習Ⅲの課題について解決策の検討（担当教員全員）
 第4回 介護実習Ⅲで実施した個別援助計画の発表と討議①（山田）
 第5回 介護実習Ⅲで実施した個別援助計画の発表と討議②（柴田）
 第6回 介護実習Ⅲで実施した個別援助計画の発表と討議③（石岡）
 第7回 介護実習Ⅲで実施した個別援助計画の発表と討議④（山田）
 第8回 介護実習Ⅲで実施した個別援助計画の発表と討議⑤（柴田）
 第9回 介護実習Ⅲで実施した個別援助計画の発表と討議⑥（石岡）
 第10回 介護関連テーマについて実践研究①（担当教員全員）
 第11回 介護関連テーマについて実践研究②（担当教員全員）
 第12回 介護関連テーマについて実践研究③（担当教員全員）
 第13回 各自テーマについてのプレゼンテーション①（担当教員全員）
 第14回 各自テーマについてのプレゼンテーション②（担当教員全員）
 第15回 各自テーマについてのプレゼンテーション③（担当教員全員）

【授業実施方法】

演習形式で行う。

【授業準備】

介護実習Ⅰ～Ⅲまでを振り返り、各自介護実践の課題や解決策を整理しておく。

【主な関連する科目】

介護過程、介護の基本、高齢者福祉論、障害者福祉論、認知症ケア論

【教科書等】

介護福祉士養成講座編集委員会編『第10巻 介護総合演習・介護実習「第3版」』中央法規出版

【参考文献】

必要時に資料を配付する。

【成績評価方法】

レポート等の提出物50%、授業内での発表40%、授業態度等10%の総合判定とする。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

福祉施設で介護職員として介護業務を経験

介護の現場で経験を活かし、利用者主体の介護が提供できるように指導していきたい。

【学生へのメッセージ】

今までの介護実習を総合的に振り返り、自分の考える介護とは何か、各自の介護に関する「介護観」を考えてみてください。